



東北 ESD/SDGs フォーラム in 仙台

東北の未来をつくる SDGs

●持続可能な社会の創り手の育成を目指す ESD（持続可能な開発のための教育）、
●地球規模の大きな社会課題の解決を目指す SDGs（持続可能な開発目標）、
とは？

SDGs のゴール達成に向けた取組は、持続可能な地域の未来につながっていきます。ESD、SDGs に関心のある皆さまの学びの場となることを目指して開催するフォーラムです。教育関係者、行政、専門機関、企業、NGO / NPO、一般など、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

2020 年

2/9 (日)

13:00 ~ 17:00

仙台国際センター
会議棟 3F 中会議室「白樫」

(仙台市青葉区青葉山無番地)

会場

120 名 (申込先着順)
参加無料

定員

- 基調講演 「SDGs を自分ごと化するための視点」
石井雅章氏
(神田外語大学言語メディア教育研究センター准教授)
- 事例紹介 東北 6 県から SDGs の取組事例
- パネル・ポスター展示、名刺交換・交流

内容

お申込・お問合せ



東北地方 ESD 活動支援センター

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町 3-2-23 仙台第 2 合同庁舎 1F
TEL 022-393-9615 FAX 022-290-7181
E-mail info@tohoku-esdcenter.jp

主催 東北地方 ESD 活動支援センター
共催 ESD/ ユネスコスクール・東北コンソーシアム
後援 (申請中)

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

プログラム

- 12:30 開場
- 13:00 開会
- 13:10 基調講演「SDGsを自分ごと化するための視点」
- 14:10 話題提供「岩手県内のSDGsの動向」
- 14:25 休憩
- 14:35 事例紹介 東北6県からSDGsの取組事例
- 16:10 クロージング
- 16:45 閉会
- 16:50 名刺交換・交流タイム ★★★★★★
- 17:30 終了

学校、NPO、企業等のSDGsへの取組を紹介するポスター・パネル展示もご覧ください！！

基調講演

神田外語大学言語メディア教育研究センター准教授 石井雅章氏

1972年東京生まれ。千葉大学大学院社会文化科学研究科都市研究専攻卒業。博士（学術）。

専門は環境社会学で、主な研究テーマは「企業による環境問題への取り組み」「SDGsと自治体総合計画の接合」など、持続可能な社会システムづくりに関すること。主な著書・論文に『環境事典』（旬報社、「企業と環境」分野の100語担当）、「地域に分け入る、休耕地活用プロジェクト」『環境会議』（2017年秋号）など。

2014年神田外語大学准教授、2017年4月より同大学言語メディア教育研究センター（LMLRC）センター長。分野や立場が異なる研究者・自治体職員・NGO/NPOスタッフ等で構成する越境の実践研究集団「未来の学びと持続可能な開発・発展研究会（みかくSD研）」では、市民や自治体、企業向けに様々なSDGsワークショップを開発・実践し、SDGsの「自分ごと化」のための活動に取り組んでいる。



事例紹介

【青森県】青森大学附属総合研究所 SDGs 研究センター 佐々木豊志氏

青森大学学生と留学生を対象に地域活性化事例とSDGsの相関に関わるフィールドワークを実施。人材育成の可能性と課題の整理などの調査研究に取り組む。

【岩手県】NPO 法人のんのりのだ物語 下向理奈氏

野田村全体を一つの大学キャンパスと見立てて、村民が教授、村内外からの人が「大学生」として参加する交流事業を展開し、地域資源ネットワークの構築に取り組む。「近隣エリアの若手事業者の地域での市場、ネットワークづくり」のバックアップも行っている。

【宮城県】東北大学公共政策大学院公共政策ワークショップ

「SDGsの実現を目指した協働プロジェクトを企画する」をテーマに活動する大学院生が、本年度取り組んだ活動について報告する。

【秋田県】秋田県立秋田北鷹高等学校

生徒が取り組む課題研究の視点の一つとして2018年冬よりSDGsを取り入れる。2019年6月に開催した学校祭「仮装行列」の各クラスの共通テーマをSDGsにするなど、学校全体で組織的な取組にすべく模索中。

【山形県】鶴岡食文化創造都市推進協議会

2014年12月に「ユネスコ食文化創造都市」に認定された。郷土食や行事食、在来作物を見直し次代に継承するための人材育成や雇用創出など多様なプロジェクトを展開するとともに、世界各国との交流を通して地域活性に取り組む。

【福島県】NPO 法人しんせい 富永美保氏

東日本大震災後に障がい者の生きがいと居場所づくりを目的に団体を設立。県内13か所の福祉事業所、企業や団体、地域住民と協働のプロジェクトに取り組む。第1回SDGsアワード(2017年12月)で内閣官房長官賞を受賞。

話題提供



NPO 法人環境パートナーシップいわて 事業部長 櫻井則彰氏

2018年度に東北地方ESD活動支援センターと共に東北ESDフォーラム実行委員会を立ち上げ、12月21日に「東北ESDフォーラム in 岩手」を開催した。その後も実行委員会メンバーが中心となり「いわてSDGsカフェ（月1回）」を立ち上げ、SDGsに関する勉強と交流の場づくりに取り組む。

E-mailでお申込みの場合、件名を「東北ESD/SDGsフォーラム in 仙台 申込」としていただき下記情報をご連絡ください。

東北ESD/SDGsフォーラム in 仙台
参加申し込み書

FAX : 022-290-7181

E-mail info@tohoku-esdcenter.jp

氏名

ご所属

TEL

E-mail

ご記入いただいた個人情報は厳正に取り扱います。フォーラムへの参加者把握に使用するもので、その他の目的には使用いたしません。